

# 第1回紀南地域廃棄物適正処理検討委員会

日時：平成15年4月24日（木）  
午後1時30分から  
場所：県民文化会館 4階 中集会室

あいさつ

検討委員会公募委員の委嘱

各委員の紹介

開 会

1. 委員長あいさつ

2. 検討委員会の設置について

- ・紀南地域廃棄物適正処理検討委員会設置の経緯（資料1）

3. 議 題

（1）副委員長の選任

（2）和歌山県における廃棄物の現状と課題及び将来目標

- ・和歌山県廃棄物処理計画より（別冊）
- ・紀南地域における現状と課題（資料2）

（3）今後の検討の進め方と検討内容

- ・紀南地域廃棄物処理に係る適正処理推進基本構想の検討（資料3）

（4）次回以降の委員会日程について

- ・検討委員会開催スケジュール（資料4）

（5）その他

閉 会

- 参考資料 -

紀南地域廃棄物適正処理検討委員会委員名簿及び配席表

紀南地域廃棄物適正処理検討委員会設置要綱

紀南地域廃棄物適正処理検討委員会の公開に関する要綱

紀南地域廃棄物処理促進協議会会議傍聴規程

紀南地域廃棄物適正処理検討委員会委員等の報酬及び費用弁償支給要綱

### 1. 紀南地域廃棄物処理促進協議会の設立

#### (1) 設立の目的

安全で快適な地域社会の形成を目指し、豊かな緑と水に恵まれた紀南地方を後世に継承するため、廃棄物の適正な処理に関する事項を、公共関与の必要性を含めて広域的な見地から検討するための協議組織を平成14年11月29日に設立しました。

#### (2) 組織及び事業概要

ア. 名称：紀南地域廃棄物処理促進協議会

イ. 区域：御坊市・日高郡、田辺市・西牟婁郡、新宮市・東牟婁郡

ウ. 事業

廃棄物の種類及び排出量の実態調査並びに課題の把握

課題への対応方策の検討

課題への対応に必要な施設適地の検討

上記施設整備に係る事業主体及び事業費負担割合の検討

上記の各事業に付随すること

エ. 全体会議の委員

市町村等(8名)・産業界(3名)・和歌山県(1名)

オ. 役員

・会長 脇中 孝 田辺周辺広域市町村圏組合管理者

・副会長 田端 淳二 日高地域産業廃棄物対策連絡協議会会長

・" 中田 肇 紀南広域産業廃棄物問題連絡協議会会長

・" 佐藤 春陽 新宮周辺広域ごみ処理対策協議会会長

・監事 瀬古 伸廣 新宮商工会議所会頭

### 2. 紀南地域廃棄物適正処理検討委員会の設置

#### (1) 設置の目的

紀南地域廃棄物処理促進協議会が紀南地域における廃棄物の適正な処理のあり方について、情報公開と住民参加による開かれた検討を行うため、当協議会会長の諮問機関として「紀南地域廃棄物適正処理検討委員会」が設置されました。

( 2 ) 委員会の構成

委員会には、学識経験者 6 名に加えて、地域住民の皆さんのご意見を反映するため、紀南地域に在住又は勤務されている方で、公募により選考されました公募委員 9 名の計 1 5 名で組織いたします。

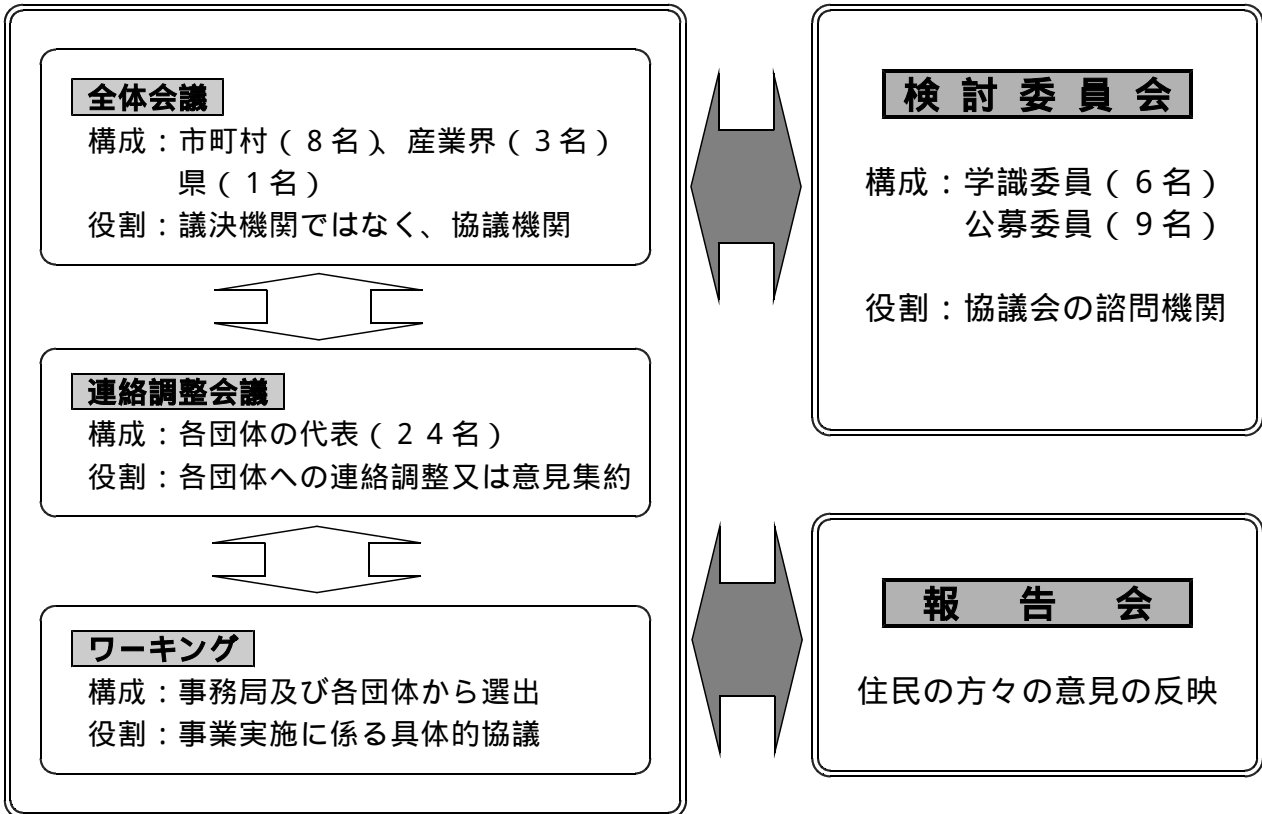
( 3 ) 会議の公開

委員会の会議は原則公開とし、傍聴は可能とします。

( 4 ) 住民参加

インターネット等により検討委員会の検討内容を紹介するとともに、必要と思われる段階で報告会を開催し、住民の皆さんのご意見を受け付けます。

紀南地域廃棄物処理促進協議会組織体系

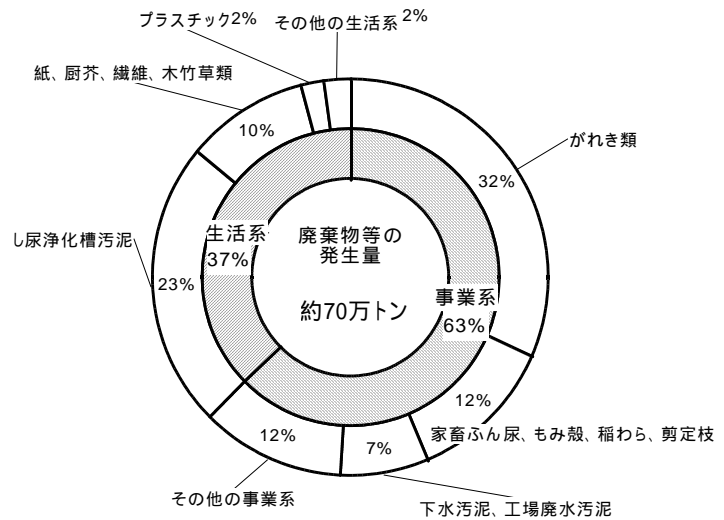


# 資料 2

## 紀南地域における廃棄物の現状と課題（現在実施中の調査から - 速報）

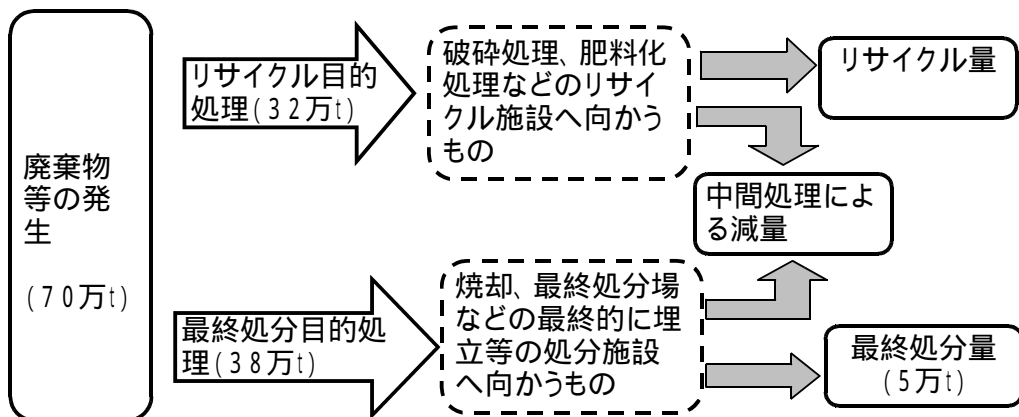
**1．紀南地域で発生する廃棄物等の発生量は、年間約70万トンと推定されています。**

一般家庭から発生する厨芥、紙くず、し尿浄化槽汚泥等の生活系廃棄物や建設工事に伴うがれき類、農業から発生する家畜ふん尿やもみ殻、稲わら、梅等の剪定枝、下水汚泥や工場廃水汚泥等の事業系廃棄物などが、年間に約70万トン発生しています。なお、和歌山県全体では610万トンと推定されていますので、紀南地域は11%を占めています。

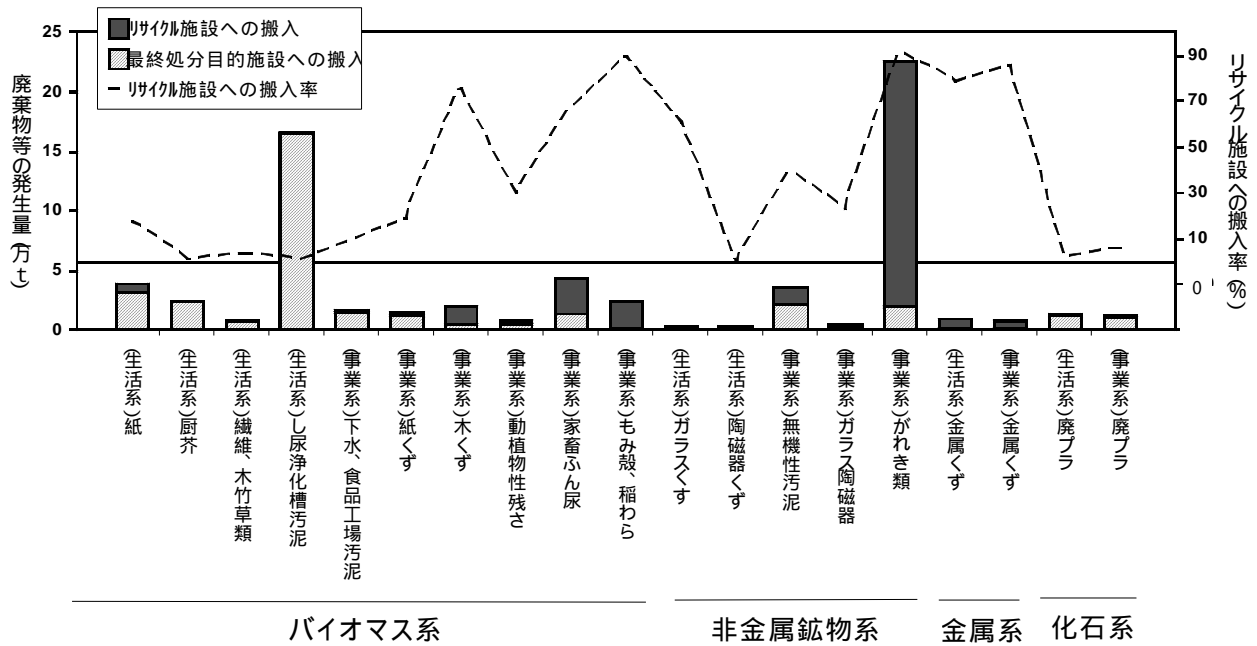


**2．紀南地域で発生する廃棄物等のうち46%がリサイクルを目的とする処理施設に向かい、54%が単なる焼却処理や最終処分施設へ向かっています。**

発生量70万トンのうち、46%に当たる32万トンがリサイクルを目的とした施設に搬入され、そこで、破碎、肥料化、分別・選別処理が行われています。一方、焼却施設で処理後最終処分されているもの、また、直接最終処分場に搬入されるものなど、最終処分を目的とした施設に搬入された量が54%、38万トンとなっています。



**3 . 紀南地域で発生する主な廃棄物等について、廃棄物別にリサイクルの状況を見ますと、金属くず、がれき類、もみ殻、稲わらなどのリサイクルは良く行われています。逆に、廃プラスチック、生活系の陶磁器くず、厨芥、繊維、木竹草類、し尿浄化槽汚泥などは、最終処分を目的とした処理の割合が高い結果となっています。**



**4 . 厨芥類や食品加工残渣などの有機性の廃棄物対策（バイオマス系）**  
**有機物を含有する厨芥や事業系の動植物性残さは、飼料・肥料化やバイオマスエネルギーなどへのリサイクルが期待されています。**

本地域では、梅加工残さ等事業系の動植物性残さの一部が飼料や肥料としてリサイクルされていますが、処分されている廃棄物も少なくありません。

リサイクルの今後の動向を踏まえながら、今後の適正処理確保の方策について検討を行う必要があります。

## **5 . 土石類、陶磁器、汚泥などの無機性の廃棄物対策（非金属鉱物系）**

**無機性汚泥以外のがれき類や陶磁器くずは、焼却などの中間処理による減量が行えません。従って、最終処分量を削減するためには、リサイクル型の処理を拡大することが望まれます。**

無機性汚泥以外のがれき類や陶磁器くずは、焼却などの中間処理による減量が行えません。従って、最終処分量を削減するためには、リサイクル型の処理を拡大することが望まれます。現状では、最も発生量の多いがれき類のリサイクルは、かなり良く行われています。

しかし、本地域から発生する最終処分量が最も多い種類となっていることから、リサイクル施設までの搬入システムの検討を行い、効果的なリサイクルシステムの構築の検討を行う必要があります。

## **6 . 金属くずの廃棄物対策（金属系）**

**金属くずについては、従来から金属スクラップ回収などのリサイクルを行うシステムが確立されていることから、リサイクルが比較的良く行われています。**

分別の不徹底などにより、これらの回収ルートに乗らない金属系廃棄物もあるようです。従って、分別等の発生段階におけるリサイクル推進方策の検討を行う必要があります。

## **7 . プラスチックなどの廃棄物対策（化石系）**

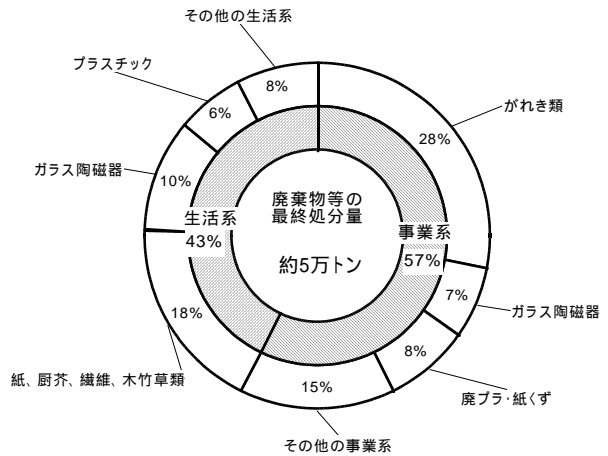
**廃プラスチックについては、ダイオキシン削減対策等により、焼却施設の廃止・休止による減量化対策が問題となっています。**

本地域においても多くの小型焼却炉が廃止された状況にあります。

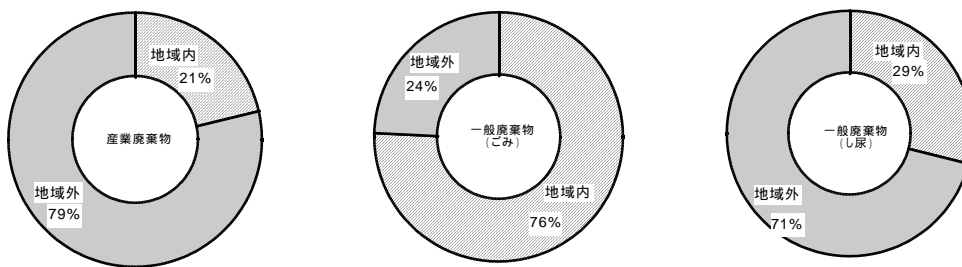
プラスチックについては、マテリアル（発生する廃プラスチックの特性に応じた再利用など）、サーマルリサイクル（廃プラスチックの高カロリーである特性を活かした熱利用など）への転換方策等の検討の必要があります。

**8 . 紀南地域で発生した廃棄物等の最終処分量 5 万トンのうち、約半分が紀南地域外の県外等で最終処分されていると見込まれています。**

最終処分量を種類別に見ますと、建設工事から発生する事業系のがれき類が最も多く、以下、生活系の紙、厨芥等（最終処分時点では、市町村の焼却施設で処理された焼却灰）、そして生活系のガラス陶磁器くずの順となっています。



なお、最終処分量の約半分が紀南地域外の県外等で最終処分されていると見込まれています。このため、リサイクルの拡大による最終処分量の削減はもとより、地域産業への支援を踏まえ、適正処理という観点から、最終処分場の確保対策の検討も必要かと思われます。



## 参考資料

表 1 紀南地域のごみ焼却施設の整備状況（平成13年3月）

| 施設名称又は事務局組合名                       | 構成市町村                               | 処理方式 | 炉型式 | 処理能力<br>(t/日) | 炉数 | 使用開始 |
|------------------------------------|-------------------------------------|------|-----|---------------|----|------|
| 御坊周辺広域市町村圏組合<br>(御坊広域清掃センター)       | 御坊市、美浜町、日高町、由良町、<br>川辺町、中津村、美山村、印南町 | 流動床  | 准連  | 98.0          | 2  | 1998 |
| 南部町南部川村環境衛生事務組合<br>(塵芥処理施設)        | 南部川村、南部町                            | ストーカ | 機バ  | 20.0          | 1  | 1972 |
| 田辺市ごみ処理場                           | 田辺市                                 | ストーカ | 准連  | 100.0         | 2  | 1996 |
| 白浜町清掃センター                          | 白浜町                                 | 流動床  | 准連  | 55.0          | 2  | 1995 |
| 上富田町大塔村中辺路町清掃施設組合<br>(上大中クリーンセンター) | 中辺路町、大塔村、上富田町                       | ストーカ | 機バ  | 22.0          | 2  | 1987 |
| 日置川町ごみ焼却場                          | 日置川町                                | ストーカ | 機バ  | 12.0          | 2  | 1990 |
| すさみ町ごみ焼却場                          | すさみ町                                | ストーカ | 機バ  | 15.0          | 2  | 1987 |
| 新宮市ごみ焼却場一号炉                        | 新宮市                                 | その他  | 固バ  | 30.0          | 1  | 1966 |
| 新宮市ごみ焼却場二号炉                        |                                     | その他  | 固バ  | 15.0          | 1  | 1975 |
| 串本町ごみ焼却場                           | 串本町                                 | ストーカ | 機バ  | 35.0          | 2  | 1985 |
| 那智勝浦町清掃管理事務所                       | 那智勝浦町                               | 流動床  | 准連  | 50.0          | 2  | 1991 |
| 太地町清掃センター                          | 太地町                                 | RDF  | RDF | 6.0           | 1  | 2000 |
| 古座町清掃センター                          | 古座町                                 | ストーカ | 機バ  | 12.0          | 1  | 1985 |
| 古座川町可燃物処理施設                        | 古座川町                                | ストーカ | 機バ  | 5.0           | 1  | 1973 |
| 熊野川地域広域組合(熊野川清掃センター)               | 熊野川町、本宮町、北山村                        | ストーカ | 機バ  | 10.0          | 1  | 1991 |

表 2 紀南地域の焼却以外の中間処理施設の整備状況（平成13年3月）

| 市町村又は一部事務組合名 | 施設区分      | 処理能力<br>(t/日) | 使用開始年 |
|--------------|-----------|---------------|-------|
| 白浜町          | リサイクルプラザ  | 6.6           | 1996  |
| 龍神村          | リサイクルセンター | 2             | 1993  |
| 古座川町         | 粗大ごみ処理施設  | 5             | 1980  |
| 熊野川地域広域組合    | 粗大ごみ処理施設  | 4             | 1992  |

表 3 紀南地域の一般廃棄物の最終処分場の整備状況

| 市町村名                            | 有無 | 残余容量<br>(m <sup>3</sup> ) | H12最終<br>処分量<br>(t) |     | 比率<br>(A)/(B)   | 委託状況 |
|---------------------------------|----|---------------------------|---------------------|-----|-----------------|------|
|                                 |    |                           | (A)                 | (B) |                 |      |
| 御坊市、美浜町、日高町、由良町、川辺町、中津村、美山村、印南町 | 有  | 167,175                   | 1,775               | 77  |                 |      |
| 田辺市                             | 有  | 20,900                    | 7,022               | 2   |                 |      |
| 龍神村                             | 有  | 55,000                    | 364                 | 123 | 県内民間業者          |      |
| 南部川村、南部町                        | 有  | 8,356                     | 627                 | 11  | 組合で県外民間業者(三重県)  |      |
| 白浜町                             | 有  | 30,102                    | 1,254               | 20  |                 |      |
| 中辺路町                            | 有  | 600                       | 261                 | 2   |                 |      |
| 大塔村                             |    |                           | 146                 | 0   | 組合で県外民間業者(三重県)  |      |
| 上富田町                            | 有  | 59,828                    | 1,653               | 30  |                 |      |
| 日置川町、すさみ町                       | 有  | 1,702                     | 2,088               | 1   |                 |      |
| 新宮市                             |    |                           | 2,723               | 0   | 県外民間業者(三重県)     |      |
| 串本町                             | 有  | 24,460                    | 3,834               | 5   | 県外民間業者(三重県)     |      |
| 那智勝浦町                           |    |                           | 922                 | 0   | 県外民間業者(三重県)     |      |
| 太地町                             |    |                           | 52                  | 0   | 県外民間業者(三重県)     |      |
| 古座町                             |    |                           | 233                 | 0   | 県外民間業者(三重県)     |      |
| 古座川町                            | 有  | 11,344                    | 84                  | 110 | 県外民間業者(三重県、奈良県) |      |
| 熊野川町、本宮町、北山村                    |    |                           | 220                 | 0   | 組合で県外民間業者(三重県)  |      |

表 4 紀南地域の産業廃棄物処理業者の中間処理施設の整備状況（平成13年3月）

| 処理業者の処理施設名    | 施設数 |
|---------------|-----|
| 汚泥の乾燥施設       |     |
| 汚泥の焼却施設       |     |
| 汚泥の脱水施設       | 2   |
| 油水分離施設        |     |
| 廃酸・廃アルカリの中和施設 |     |
| 廃油の焼却施設       |     |
| 廃プラの焼却施設      | 3   |
| 廃プラの破碎施設      | 1   |
| その他の焼却施設      | 1   |
| コンクリート固形化     |     |
| 汚泥の造粒固化       |     |
| 動植物性残さの堆肥化施設  | 3   |
| 廃プラの熔融施設      | 1   |
| 木くず・がれき類の破碎施設 | 21  |
| 木くずの炭化        | 2   |
| その他の破碎施設      | 5   |
| その他の発酵施設      | 1   |

**【和歌山県廃棄物処理計画に基づく基本方針】  
県内資源循環システムの構築**

**【課題】**

依然として高い水準にある排出量  
処理施設の不足と  
県外処理への依存  
不法投棄等、不適  
正処理の増加

**【取り組みの方向性】**

循環型社会の構築を目指し、排出抑制  
・再使用・再生利用を徹底した社会ス  
テムへの転換を促進  
資源化・減量化・無害化を徹底し、最  
終処分量を低減することにより、廃棄  
物による環境影響を限りなく低減する  
監視・指導・取締を強化し、不法投棄、  
違法保管及び野焼き等の不適正処理を  
撲滅する

**【和歌山県の行動目標】**

循環型社会構築に関する県民、事  
業者意識の醸成  
廃棄物の排出抑制、再使用、再生  
利用、減量化の推進  
適正処理推進のための処理体制の  
構築  
不法投棄等不適正処理対策の充実  
特別管理廃棄物の適正な保管・管  
理・処理の推進

**【和歌山県の数値目標値】**

一般廃棄物  
平成22年度には排出量を約7%削減  
し、再生利用率を14%増加させ、最  
終処分量を50%減量化することとす  
る。  
産業廃棄物  
平成22年度には排出量の増加を抑制  
ほぼ横ばいとし、再生利用率を4%  
増加させ、最終処分量を63%減量化  
することとする。

**【和歌山県の目標達成のための取組】**

循環型社会の構築に関する県民、事業者意識の醸成 廃棄物の排出抑制・減量化・再生利用の促進 適正処理推進のための処理施設の確保

**【大阪湾フェニックス計画対象外地域（紀南地域）の課題等】**

当該地域の産業廃棄物の排出量は県全体の約1割にすぎないが、管理型等の最終処分場が立地していないことから、管理型廃棄物の最終処分は県外に依存している。また、焼却等により減量可能な可燃性廃棄物についても中間処理の多くを県外に依存しており、最終処分、中間処理ともに県外処理に依存している状況にある。  
当該地域については、一般廃棄物の最終処分場も不足していることから、ごみ処理施設の集約化と連動し、一般廃棄物と産業廃棄物の併せ処理も視野に入れ、処理施設の確保を検討する

**この基本方針を受けて、紀南地域で適正処理を推進するためには**



**紀南地域廃棄物処理に係る適正処理推進基本構想の策定（第1段階）  
適正処理推進基本構想を推進するために（第2段階）**

## 具体的検討の進め方

### 紀南地域廃棄物処理に係る適正処理推進基本構想の検討（第 1 段階）

紀南地域で排出される一般廃棄物及び産業廃棄物の適正処理の確保を図るため、当該地域の市町村及び事業者の連携による持続的発展可能な方策の検討を行う予定です。

#### ステップ 1：廃棄物処理の現状、課題、将来動向の整理

- ( 1 ) 和歌山県全体の現状と課題及び将来目標
- ( 2 ) 紀南地域の現状及び課題の抽出・整理

一般廃棄物、産業廃棄物、その他農林漁業等潜在的な副産物等について、既存資料の調査、関係機関・団体等へのヒアリング調査及びアンケート調査により、本地域の詳細な実態把握を行い、合わせて将来動向の把握を行う予定です。

#### ステップ 2：課題を解決するための基本的・具体的な方策の検討

- ( 1 ) 廃棄物の減量化・資源化を推進するための方策の検討
- ( 2 ) 推進方策に対する課題等の整理

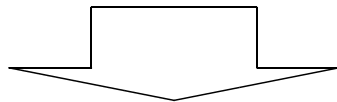
循環型社会形成基本法（平成 12 年 5 月制定）に基づく、廃棄物処理の優先順位である排出抑制、「再使用」、「再生利用」、「熱利用」、「適正処分」の各項目に対して、廃棄物の種類ごと、排出者区分（産業別）ごと、市町村ごとの属性別にそれぞれの各項目を推進する方策の検討を行う予定です。

なお、各属性ごとの排出・処理の特徴や課題を踏まえ、単独又は一般廃棄物と産業廃棄物、市町村と事業者の連携による方策の検討を予定しています。

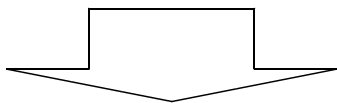
#### ステップ 3：廃棄物の適正処理推進基本構想策定（まとめ）

- ( 1 ) 課題解決のための基本方針の検討
- ( 2 ) 課題解決のための連携方策の検討
- ( 3 ) 適正処理方策の検討

本地域における廃棄物の適正処理を推進するための基本方針を定め、地域内の事業者、市町村等による連携方策の内容を検討する予定です。また、適正処理の推進を確立・補完するために必要となる施設整備の検討を行う予定です。



**紀南地域廃棄物処理に係る適正処理推進基本構想の策定  
（紀南地域における望ましい処理システム検討報告書）**



**適正処理推進基本構想を推進するために（第 2 段階）**

検討委員会開催スケジュール（事務局案）

資料 4

（平成15年）

|     |  |   |
|-----|--|---|
| 4月  | <p>第1回委員会 4月24日<br/>県全体の廃棄物処理の現状、課題、将来目標の説明<br/>紀南地域の現状・調査状況の説明（概要）</p>  | <p>廃棄物に関する調査<br/>（H14.10～H15.6）<br/>市町村、事業者へのアンケート<br/>事業者団体等へのヒアリング<br/>廃棄物処理処分、移動状況等<br/>の解析<br/><br/>（委員会での意見を頂きながら実施）</p> |
| 5月  | <p>第2回委員会 5月上旬<br/>紀南地域の状況についての調査結果の報告<br/>課題の抽出・整理</p>  |   |
| 6月  | <p>第3回委員会 6月上旬<br/>課題を解決するための基本的な方策の検討<br/>・特に廃棄物を減らす、資源化を進める方策の検討</p>   | <p>地域の住民の皆さんへの報告<br/>（基本的方策について）<br/>この時期に、地域の住民の<br/>皆さんに中間報告を実施予定<br/>そして、ご意見を求めます</p>                                      |
| 7月  | <p>第4回委員会 7月上旬<br/>課題を解決するための基本的な方策の検討（その2）<br/>・資源化、減量化を徹底した後、残った廃棄物について<br/>の適正処理方策の検討<br/>基本的方策（案）の取りまとめ</p>  |   |
| 8月  |  |   |
| 9月  | <p>第5回委員会 9月上旬<br/>基本的方策への住民意見の反映についての検討<br/>課題解決のための具体的方策の検討<br/>・減量化・資源化・適正処分を行うためのソフト施策・<br/>ハード施策についての検討</p> |   |
| 10月 | <p>第6回委員会 10月上旬<br/>課題解決のための具体的方策の検討（その2）<br/>具体的方策（案）の取りまとめ</p>   | <p>地域の住民の皆さんへの報告<br/>（具体的方策について）<br/>この時期に、地域の住民の<br/>皆さんに報告を実施予定<br/>そして、ご意見を求めます</p>  |
| 11月 | <p>第7回委員会 11月下旬<br/>具体的方策への住民意見の反映についての検討<br/>最終報告の取りまとめについての検討</p>  |   |
| 12月 | <p>第8回委員会 12月下旬<br/>最終報告書の取りまとめ</p>  |   |

# 紀南地域廃棄物適正処理検討委員会・配席表

平成15年4月24日(木) 13時30分～  
和歌山県民文化会館 4階 中集会室

橋本 卓爾 委員長  
和歌山大学経済学部教授

井伊 博行 委員

和歌山大学システム工学部教授

緒方 順子 委員

介護担当職員

小野 正治 委員

自営業

柏崎 幸雄 委員

公民館長

金子 泰純 委員

和歌山大学システム工学部助教授

近藤 信子 委員

主婦

佐々木 香徳委員

行政書士

寄本 勝美 委員

早稲田大学政治経済学部教授

山本 甫 委員

(財)大阪市環境事業協会常務理事

森口 佳樹 委員

和歌山大学経済学部助教授

森 正一 委員

アクセサリーインストラクター

西野 稔治 委員

旅館経営

須川 頼一 委員

無職

清水 和子 委員

町議会議員、農業

紀南地域廃棄物  
処理促進協議会  
事務局

脇中 孝  
紀南地域廃棄物  
処理促進協議会  
会長

津本 清  
和歌山県環境生活部  
部長

松本 一彦  
和歌山県環境生活部  
環境政策局  
局長

紀南地域廃棄物処理  
促進協議会 事務局

和歌山県 環境生活部環境政策局  
循環型社会推進課 処理計画推進室

傍 聴 席